

みんなで作る 未来の場 かたち

ぷらっと

2020年
7月1日号
Vol. 5



発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する詳しい情報は
町田市ホームページをご覧ください。

「ぷらっと」には、ぷらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。



将来を見据えた公共施設の理想的な姿を みんなで描きましょう

町田市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、2018年6月に「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」を策定し、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

2020年度は公共施設の再編について、具体的な検討を行っています。検討にあたっては、市民や民間事業者の皆さんと情報を共有し、十分に対話を行い、皆さんからアイデアを伺いながら「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

公共施設の複合化を考えよう

2018年6月に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の複合化*の検討を進めています。たくさんある公共施設のうち、まずは、多くの老朽化してきた公共施設が点在する町田駅周辺をとりあげ、特に建物が古く、早期に検討が必要な保健所中町庁舎と、同じ保健機能である健康福祉会館の集約・建替えについて考えていきます。その他の地域の公共施設では、教育センターの建替えについて考えていきます。

公共施設を考えたときの4つの基本方針

- ①建物の総量を減らす。
- ②建物にかかるコストを減らす。
- ③市民、民間事業者、他自治体など様々な主体と連携する。
- ④既存の施設や土地を有効活用する。

民間との複合化は8割の方が賛成しているよ！



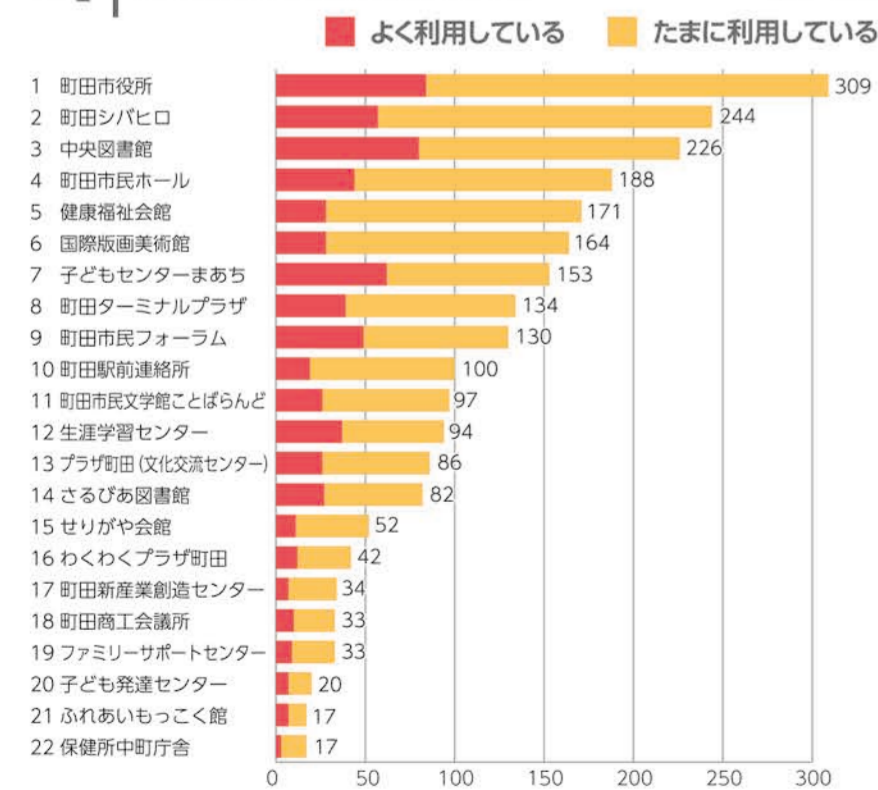
町田駅周辺公共施設の配置図



プチ情報

町田駅周辺公共施設の利用状況

Q 町田駅周辺の公共施設を使っていますか。また、使う頻度はどのくらいですか。(総数=554)



2019年度アンケート結果から
一番よく利用されているのが町田市役所。市民の憩いの場となっている町田シバヒロも2位にランクイン。その他、中央図書館や町田市民ホールがよく利用されているね！

TOPIC 1

健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討

町田駅周辺

健康福祉会館と保健所中町庁舎は、同じ保健施設ですが、距離的に近く、両施設はともに老朽化が進んでいます。建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。町田駅周辺の土地や空間の、高い利用価値を踏まえて、民間事業者とのコラボレーションによる建替えを検討します。また、その他の公共施設についても、公共施設再編計画に基づいて取り組みを進めていきます。

施設紹介



健康福祉会館
健康・保健サービスを推進する施設です。母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や乳幼児健診、離乳食講習会等各種事業を実施しています。
建築年度：1988
延床面積：4,429㎡(4階建て)



保健所中町庁舎
保健衛生施設です。食品衛生・環境衛生・愛護動物に関する各種事業や母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や結核検診等の事業を実施しています。
建築年度：1973
延床面積：1,853㎡(2階建て)

再編計画の内容

建物の建替えの時期を捉えて、健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約化する。

2020年度に考えること

検討① 集約・建替え候補地の検討

2019年度に民間事業者へヒアリングを行いました。集約・建替え候補地は、土地の広さや形、接する道路条件などの理由から、民間とのコラボレーションの可能性があった5か所と仮定します。それぞれのメリット、デメリットについて比較、検討します。

検討② 民間とのコラボレーション方法

町田駅周辺はポテンシャルが高い土地です。市の財政負担の軽減を目指す民間との連携方法を検討します。

検討③ 民間機能の導入

どのような民間サービスが、新たな保健施設と一緒にあると便利になるのか、施設の魅力があがるのかなど、民間機能の導入を検討します。



プチ情報

民間とのコラボレーションの例

民間と一緒にやることで、市民にとって、よりニーズに応える良質なサービスを受けられる可能性があります。民間と公共施設を建替えるには次のような例があります。

- 例1 定期借地権**
市有地を民間事業者が期間を定めて貸し出し、民間事業者が建物や施設を建設・運営を行う方法。
- 例2 民間施設との合築**
市と民間事業者がお金を出し合って共同で建設するパターンと民間施設の一部を市が賃借するパターンがあります。
- 例3 PFI**
公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用します。民間主導により、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る方法です。

みんなで考えよう

健康福祉会館はどこにあたり、子どもの健診に来るお母さんたちに便利かな？どんな機能が保健機能と一緒にあったら便利だろう？



TOPIC 2

教育センターの複合化・建替え検討

木曽東

教育センターは、旧忠生第四小学校の校舎を活用しています。1号館は築48年、2号館は築53年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。広い土地の有効活用や他の公共サービスとの複合化を検討します。

施設紹介



教育センター
就学・教育相談や教職員を対象とした研修などを行っています。また、不登校になっている児童・生徒の学校復帰を支援する適応指導教室もあります。震災時の避難施設に指定されています。
建築年度：1号館1972 2号館1967
延床面積：6,498㎡(1号館4階建て 2号館3階建て)

再編計画の内容

利用面積を圧縮し、空いたスペースに現在行っている主な事業と親和性のある他機能を複合化する。複合化する機能がない場合は、大規模改修や建替えの際に施設規模を縮小する。

2020年度に考えること

検討① 複合化する機能

親和性のある機能(子どもや教育関連施設など)や、町田駅周辺でなくとも提供できる公共サービスの移転先など、複合化する機能を検討します。

検討② 民間とのコラボレーション方法

広い土地を活かして、市の財政負担の軽減を目指す民間との連携方法を検討します。



アクセス
・JR横浜線古淵駅から徒歩約10分
・町田バスセンターからバス約8分「境川団地中央」下車

みんなで考えよう

教育センターには、どんな公共施設を移転したらいいかな？



今後の予定

7/1から

アンケートで複合化に関するご意見を募集します

健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討及び教育センターの複合化・建替え検討について、皆さんからのご意見をお聞かせください。

回答方法①

町田市ホームページ【公共施設についてみんなで考える場「知ろう！考えよう！公共施設のより良いかたち」を開催しています】から直接回答してください。

回答方法②

地域センターまつりにブースを出展します。ブースにご来場いただき、アンケートに記入していただきます。

公共施設再編キャラクターの名前を募集します！

公共施設の現状や再編の考え方などをわかりやすく知っていただくため、2019年度に、皆さんにお答えいただいたアンケートの集計結果を凝縮した「みんなのアイデアブック」を作成しました。その中に登場する3匹のキャラクターの名前を皆さんから募集します。



応募方法

応募方法①：町田市ホームページから応募用紙をダウンロード、またはメール本文に直接記入して送信してください。
メール(mcity2980@city.machida.tokyo.jp)
応募方法②：地域センターまつりの出展ブース
応募締切日：11月14日(土)
詳細はホームページへ→



ブース出展予定

日程	イベント名
9月19日	成瀬コミュニティセンターまつり
10月3日	鶴川市民センターまつり
10月10日	なるせ駅前市民センターまつり
11月7日	つくし野コミュニティセンターまつり

*開催の有無は随時町田市ホームページをご確認ください。

2019年度センターまつりの様子



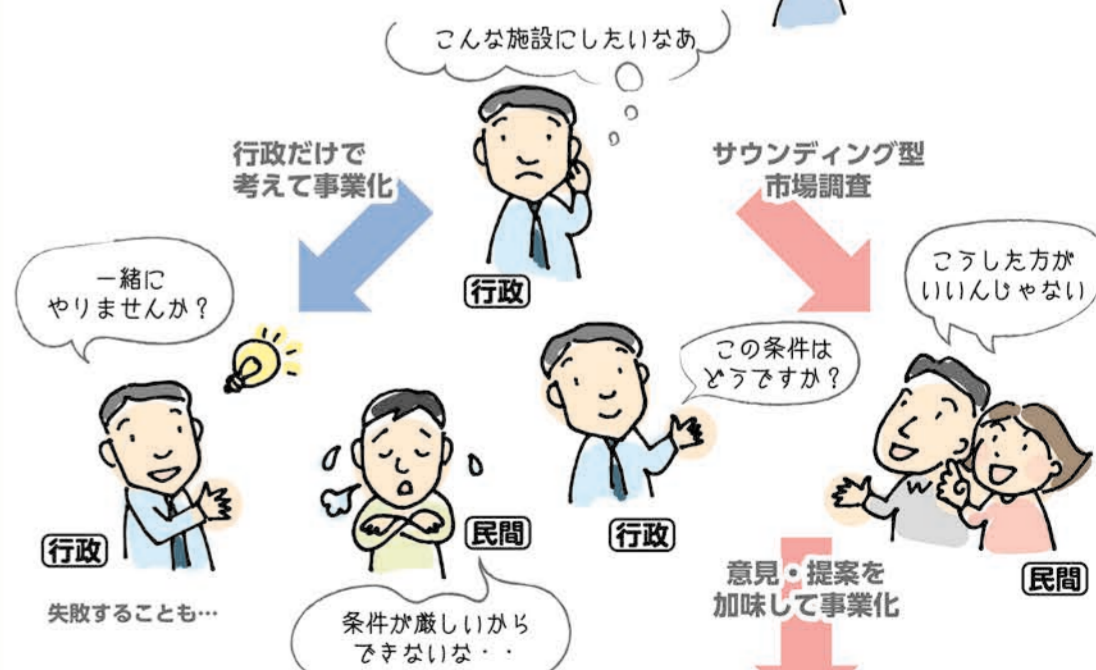
9月頃

公募によるサウンディング型市場調査を行います

サウンディング型市場調査とは？

民間事業者と連携した公共施設の整備・運営方法の検討をする際に、案の作成段階から民間事業者の意見・提案を受けたり、民間企業者との対話を通じて市場性の有無を把握することなどを目的とした、マーケティング手法のひとつです。

民間とのコラボレーションを検討するならば、実際に民間事業者側の意見も聞いてみないとな！



メリット

- ・民間事業者と行政との考えのギャップを事前に把握、考慮することで、よりスムーズに事業を進めることができます。
- ・公募で行うことにより、公平性・透明性を確保できます。



② *複合化とは、1つの建物に複数のサービスをまとめることです。これによって、建物の量を減らしつつ、利便性向上や新たな交流の機会を生み出します。

短期再編プログラムの取組状況

2019年度の主な検討の進捗状況をピックアップしてお知らせします。

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」では、施設を機能毎にA～Zの26分野に分けて、各施設の方向性を示しています。短期再編プログラムとは、直近の9年間（2018～2026年度）に行う取り組みのことです。

A 庁舎・窓口施設等(市民部)

町田市市民センター等の未来ビジョンの策定検討

10年20年先の市民ニーズや環境変化を見据えた市民センター等の機能や量、配置場所について計画を策定する予定です。

計画策定にあたり、「町田市市民センター等のあり方検討委員会」を設置し、学識経験のある方、市民センター等を利用・運営する関係団体等の代表の方等の市民委員と共に、検討をしています。

【今後の予定】

2020年度に、あり方検討委員会や市民意見募集等を行い「市民センター等の未来ビジョン」を策定します。

C 図書館(生涯学習部)

「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」を策定

「町田市立図書館のあり方見直し方針」に示した課題を解決し、図書館のめざす姿や再編の方向性を具現化するための実行計画として、2020年2月に教育委員会において策定しました。

【アクションプランの主な内容】

- ①図書館サービスの見直し…「めざす姿」実現のためのサービス展開
- ②図書館資源の再配分…人員、施設、サービスへの資源配分の最適化
- ③図書館の運営体制の確立…民間活力の導入、中央図書館の機能強化

D 学校(学校教育部)

「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」を策定

2020年1月、町田市立学校適正規模・適正配置等審議会から「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」について答申を受けました。この答申に基づき、教育委員会では、町田の未来の子どもたちの視点に立って適正規模・適正配置を推進することを基本的な視点として、以下のとおり「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」を決定しました。

【基本的な考え方(抜粋)】

- ・適正規模の基本的な考え方
町田市立学校の適正規模を「1学年あたりの望ましい学級数」と定義し、以下のとおり決定しました。
①小学校・・・3～4学級(1校あたり18～24学級)
②中学校・・・4～6学級(1校あたり12～18学級)

・適正配置の基本的な考え方

適正規模の実現を目指した望ましい通学区域の編成と学校配置を進めるとともに、ゆとりのある学校施設環境を整備することが必要であり、学校統廃合を含めた新たな通学区域を検討するための適正配置の基本的な考え方を以下のとおり決定しました。

- ①通学時間及び通学距離、②安全な通学環境、③地域社会との関係、④小・中学校区間の整合、⑤通学区域内における学校の位置

【今後の予定】2020年度に主に「町田市立学校の新たな学校づくりの基本的な考え方」と「町田市立学校の新たな通学区域」で構成される「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」について審議会に諮問・調査審議し、2021年6月に「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」を策定する予定です。

G 子どもセンター・子どもクラブ(子ども生活部)

子どもクラブ整備を進めています

子どもの居場所や仲間づくりなどの交流の拠点として、子どもクラブの整備を進めています。2019年11月に南町田子どもクラブ「つみき」、2019年12月に小山子どもクラブ「さん」、2020年6月に「MIWA～GO」(みわ～ご)が開館しました。



「つみき」



「さん」



「MIWA～GO」

I 障がい福祉施設等(地域福祉部)

「ひかり療育園の新たな運営体制に関する方針」を策定

これまで市直営で行ってきたひかり療育園の事業に民間活力を導入する新たな運営方針を、2019年9月に策定しました。今後、公募による事業者選定や引き継ぎ等を行い、2022年度に新たな運営体制へ移行する予定です。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初の移行予定を一年度延期しています。)

【方針の主な内容】

- ・ひかり療育園の生活介護事業は民営化し、民間法人へ運営を引き継ぎます。
- ・生活介護以外の事業(訪問・成年後見制度の相談・高次脳機能障がいの相談)については、委託など運営手法を変更します。

R その他高齢者福祉施設等(いきいき生活部)

成瀬あおぞら会館は2019年度をもって閉館

市主催の介護予防教室などの開催や、車いす等の福祉機器の寄付の受付及び貸出しを行う福祉機器リサイクル事業に使用してきましたが、2019年度をもって閉館しました。

J 生涯学習施設(生涯学習部)

陶芸スタジオでの陶芸事業は2019年度をもって終了

陶芸窯の老朽化や利用者の減少にともない、2019年度をもって陶芸講座等を行う陶芸事業を終了しました。今後の陶芸スタジオの活用方法について検討しています。

Z 駐車場・自転車等駐車場(経済観光部)

原町田1丁目駐車場運営コストの削減

2020年4月から、指定管理者を変更しました。利用料金制の導入と24時間運営により、よりコストのかからない運営方法に切り替えました。

X 供給処理施設(環境資源部)

境川クリーンセンターの旧投入施設の解体が完了

1961年から稼働してきたし尿処理施設は老朽化による改修工事を行いました。2019年3月から新たな投入施設が稼働し、旧投入施設は2020年2月に解体が完了しました。

町田市には公共施設が359施設あるよ。それぞれの施設を取り組みを進めているんだね。



町田市公共施設マネジメント

検索

この広報紙は、106,000部作成し、1部あたりの単価は6円です。(職員人件費を含みます。)